

平成29年度 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）バス研修 実施要項

1. ねらい

- ・観光分野に関して、北海道の先進的な取組をしている地域を見学し、「地域の現状や取組内容について」の講話を受けることによって、これから行われる本校の観光学習に生かす。
- ・MICE施設の見学及び札幌のMICEを担当している方から「MICEの基礎的・基本的知識と札幌の現状について」の講話を受けることによって、これから行われる本校のMICE学習に生かす。
- ・観光に欠かせない空港、ホテルやコンドミニウムなどの施設見学や現地説明を受けて、今後の観光プランの作成やMICEビジネスにおけるイベントプランの作成に生かす。
- ・外国人への観光動向調査や観光地域のフィールドワークをすることにより、コミュニケーションの基本や積極性を身に付ける。

2. 日 時 平成29年6月9日（金）

3. 場 所 ニセコ方面・千歳方面

4. 該当生徒 1学年 240名（ニセコ方面 A・B・D組：120名
／千歳方面 C・E・F組：120名）

5. ニセコ方面の実施要項

(1) 概要

ニセコ町方面へ行く班については、ニセコの観光の現状や取組状況、外国人観光客の動向等の講話を聞いた後、ホテル・コンドミニウム等の施設見学、そこに働く方や観光客へのインタビュー調査を実施する。

また、地元の高校とも交流を行う。

(2) 日程

- 8：40 学校発
- 11：00 ニセコ町（町民センター）着
- 11：15 < ポールさんの講演 > 場所：ニセコ町民センター
- ・ニセコの観光について（歴史や転換点となる出来事など）
 - ・外国人の動向について（国際的な観光地として）
 - ・新たな取り組み状況について ・今後の方向性など
- 12：00 後片付け後、ニセコ町民センター発
- 12：15 < 昼食 > 持参食 晴れ：曾我森林公園・雨：町民センター
- 13：00 曾我森林公園発
- 13：30 < 比羅夫地区の施設見学とインタビュー >
- 場所：ニセコを代表する3つのコンドミニウム
- ① マイエコロッジ → Aspect Niseko → The Vale
 - ② Aspect Niseko → The Vale → マイエコロッジ
 - ③ The Vale → マイエコロッジ → Aspect Niseko
- ※ 施設間の移動はバスにて。各施設の責任者に施設及び会社の説明を英語でしていただく。最後に生徒の代表が英語で質問（インタビュー）をする。
- < ニセコ高校との交流 >
- 各クラス代表数名がニセコ高校へ行き、取組や施設の見学を行う。

- 15:30 ニセコ町発
 17:00 学校着予定
 (3) 対応依頼先 講演講師：ポール・ハガード 氏
 施設見学講師：ハガード・純 氏
 長井 聡 氏・クリスティーナ・コイ氏・イアン・ウォーカー氏
 クリスティン・ファーバリン氏 (Nisade / The vale)
 レット・ロイラン氏 (Vacation Niseko / Aspect Niseko)
 鎌田 静子氏 (マイエコロッジ)
 山城 誠教頭先生・中谷 知記先生 (北海道ニセコ高等学校)
 (4) 引 率 添田・吉川・長永・三谷 (商業科)・西岡・藤田 (共通科) 6名

6. 千歳方面の実施要項

(1) 概要

千歳市方面へ行く班については、新千歳空港の概要、外国人観光客の動向等の講話を聞いた後、施設の利用客に対してインタビュー調査を行う。その後、札幌地域のMICE関連施設の見学を行い、札幌MICEの現状について説明を受ける。

(2) 日程

- 9:00 学校発
 10:30 新千歳空港到着
 < 施設見学 >
 < 新千歳空港の概要と旅客数の変化等の説明 >
 ・観光客数増加の現状と変化の推移
 ・観光客数の増加に対する対応
 11:30 < 観光客へのインタビュー > (昼食を兼ねる)
 13:00 新千歳空港出発
 14:00 札幌コンベンションセンター到着
 < 施設見学 >・< MICE概要の説明 >札幌国際プラザ担当より
 15:10 札幌コンベンションセンター出発
 16:00 学校着予定
 (3) 対応依頼先 北海道空港株式会社 総務部秘書広報課 白川様
 札幌コンベンションセンター 安田様
 (4) 引 率 財前・西田・嶋守・牧野 (商業科)・反保・矢野 (共通科) 6名

7. 事前・事後指導

【SPH事業計画書より】

- ・学習の初めに、生徒の知識及び意識について、事前のアンケート調査を行う。
- ・事前学習として、それぞれの見学地の地理的な知識、簡単な歴史などを授業にて学ぶ。
 (地理歴史科「地理A」) さらに、外国人へのインタビューのために英語でのインタビューや質問の仕方について、簡単なロールプレイを行うことで、トレーニングする。
 (外国語科「コミュニケーション英語I」・「英語会話」)
- ・事後学習として、それぞれの班から研修の概要やインタビュー調査の結果などを報告し、情報の共有を図る。また、それまでに利用したワークシート、記録シート、写真、メモなどからポートフォリオを各自作成させる。このポートフォリオは今後の観光やMICEの学習に役立てる。
- ・学習の振り返りとして、作成したポートフォリオを見て、取組についてのレポートをまとめる。さらに、生徒の知識及び意識がどのくらい高まったかを知るために、事後のアンケート調査を行う。

- ・取組状況や感想については、公開できる範囲でHPなどに載せ、関係機関や広く一般からもコメントを求める。

【ビジネス基礎の授業計画】

◎ 事前学習

- 5月最終週 … ビジネス基礎（5月29日～5月31日：予定）
 - ・動機づけ ・具体的なプログラム説明 ・事前アンケート
- 6月1日 … ビジネス基礎（5時間目）集会
 - ・全体的な注意事項 ・各方面に分かれて説明など
- 6月8日 … SHR後説明？
- 6月9日 … バス研修当日

◎ 事後学習

- 6月第3週 … ビジネス基礎（6月12日～16日：予定）
 - ・事後アンケート ・感想レポート作成
- それ以降 … ビジネス基礎（木曜日5時間目）集会 ※ 6月22日？
 - ・各方面から報告 ・感想レポート発表

【考慮すべき事項】

- ・英語での質問（インタビュー）
 - 英語会話である程度の質問方法を体験する … 『英会』で学習
 - できなければ、宿題とする（各自質問を一つ日本語で考え、自分の努力で英語に翻訳、質問をする。）：当日通訳教員の配慮が必要
- ・ニセコの観光・MICEについて
 - ある程度の事前学習（位置や歴史？、地理的な事項等） … 『地理』にて学習

8. 評価

- ・各見学先の地理的な事項については、定期考査で評価を行う。
- ・外国人観光客や施設責任者へのインタビューについては、評価基準表によるパフォーマンス評価を用いて、評価する。
- ・事前、当日、事後の取組状況については、各自のポートフォリオを評価する。
- ・意識調査の前後でどのくらい意識が変わったのかをアンケート調査で測定する。